

極東開発グループ

2023年3月期 第1四半期 決算説明資料



極東開発のグループ構成



極東開発工業株式会社

特装車事業

85.9%

■ 製造・販売・サービス

(グループ会社) 国内2社

海外4社: 中国、インドネシア、インド

■ サービス・中古車販売

(グループ会社) 国内3社

■ 調達

(グループ会社) 海外1社: 中国

環境事業

7.2%

■ リサイクル施設の建設

■ 運転受託・メンテナンス

(グループ会社) 国内4社

パーキング等事業

6.9%

■ 立体駐車装置、コインパーキング

(グループ会社) 国内3社

<比率は売上構成比(2022年6月末)>

特装車事業

KYOKUTO



トラックメーカー・ディーラー

商社・ユーザー様



ボデー等



③架装

KYOKUTO
グループ

シャシ



完成



※コンクリートポンプ車等一部の製品についてはシャシは買取。

3

グループ主力製品

KYOKUTO



コンクリートポンプ車



粉粒体運搬



トレーラ

赤字: シェア1位製品
青字: シェア2位製品



1台積車輛運搬車



タンクローリ・散水車



テールゲートリフト



ダンプトラック



脱着ボデー車



ごみ収集車



ウイングボデー車

4

国内生産体制



三木工場(兵庫県三木市)



- コンクリートポンプ車
- ごみ収集車
- タンクローリ
- 機能部品の内製

名古屋工場(愛知県小牧市)



- ダンプトラック
- 粉粒体運搬車
- テールゲートリフト
- 散水車、タンクローリ

福岡工場(福岡県飯塚市)



- ダンプトラック
- パン

横浜工場(神奈川県大和市)



- ダンプトラック
- 脱着ボデー車
- 1台積車輛運搬車

本社事業所(愛知県豊川市)



- トレーラ
- パン

音羽事業所(愛知県豊川市)



- ウイングボデー

御津事業所(愛知県豊川市)



- スワップボデー

5

海外生産体制



インド工場 (グループ化：2020年9月)



- ダンプトラック
- トレーラ
- タンクローリ

インドネシア工場 (操業開始：2014年2月) PT KYOKUTO INDOMOBIL MANUFACTURING INDONESIA



- ダンプトラック
- ミキサートラック
- テールゲートリフト

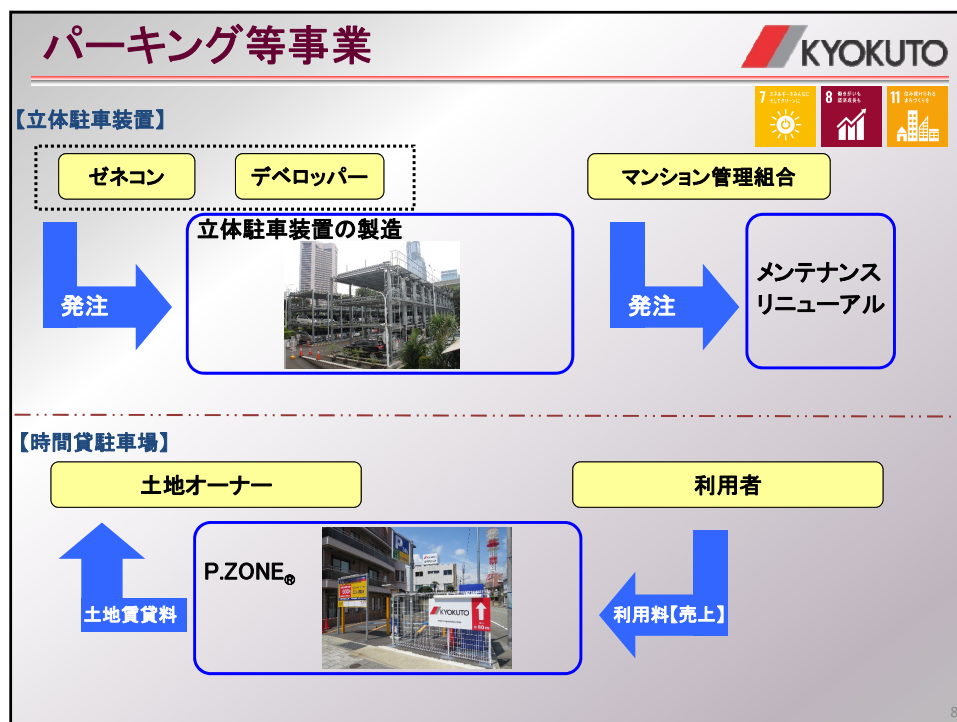
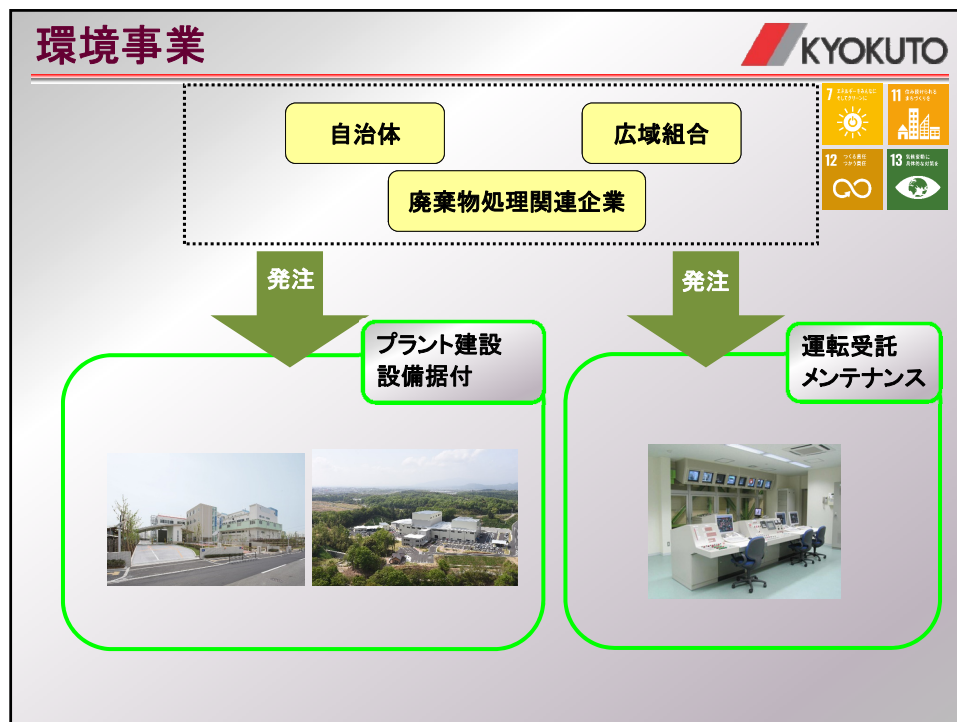
昆山工場 (操業開始：2005年4月)

极东开发(昆山)机械有限公司



- ミキサートラック

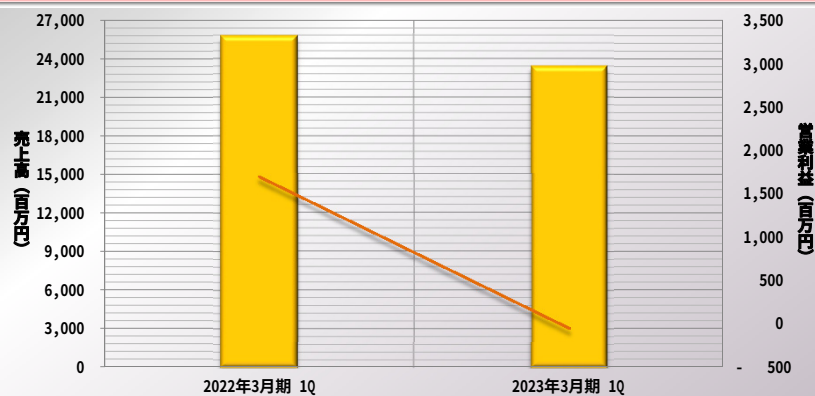
6



2023年3月期 第1四半期 連結決算実績

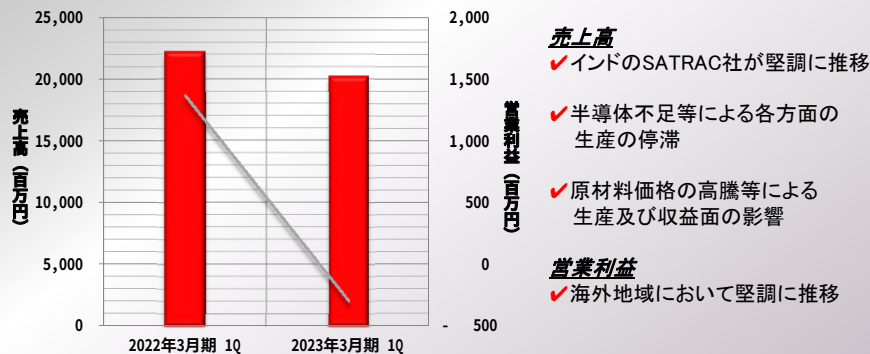


2023年3月期第1四半期 連結決算



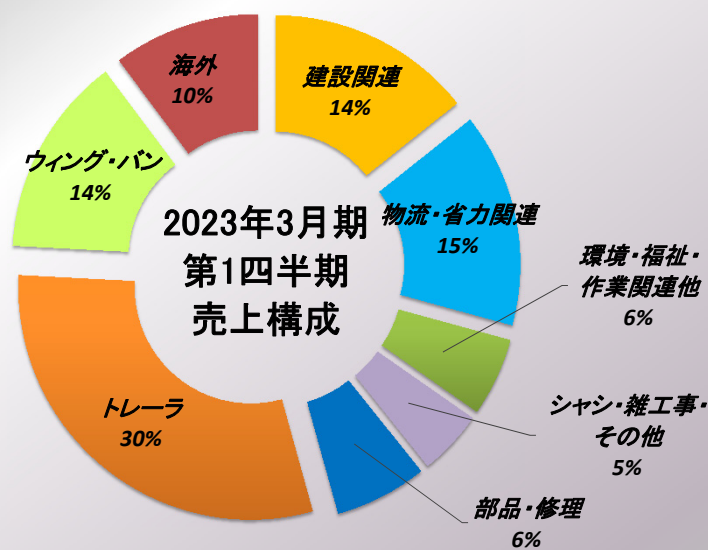
	2022年3月期 1Q実績	2023年3月期 1Q実績	前年比	
売上高	25,860	23,495	△2,365	△9.1%
営業利益	1,689	△ 50	△1,740	-
経常利益	1,817	355	△1,462	△80.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,185	188	△997	△84.1%

2023年3月期第1四半期 特装車事業



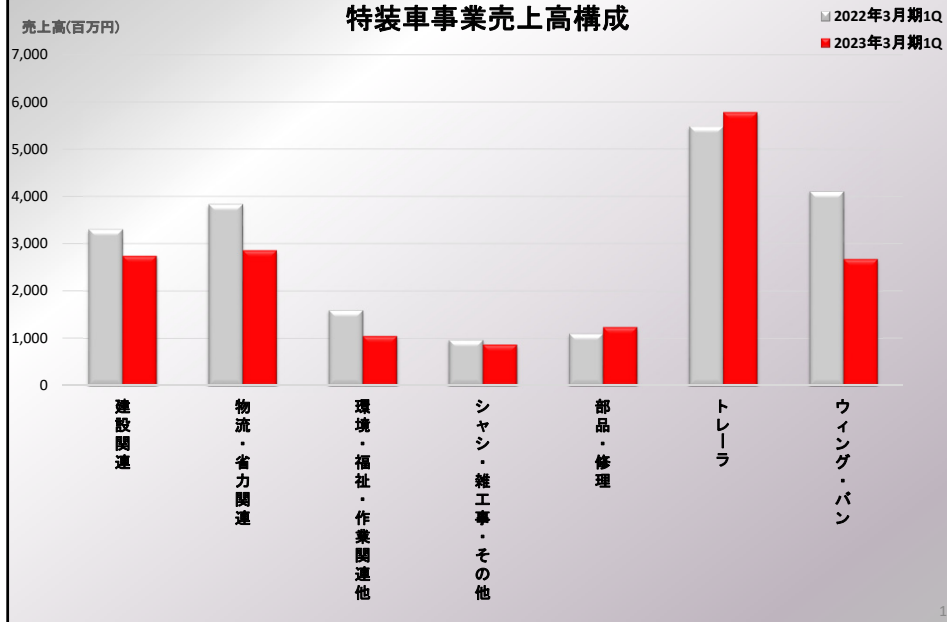
11

2023年3月期第1四半期 特装車事業

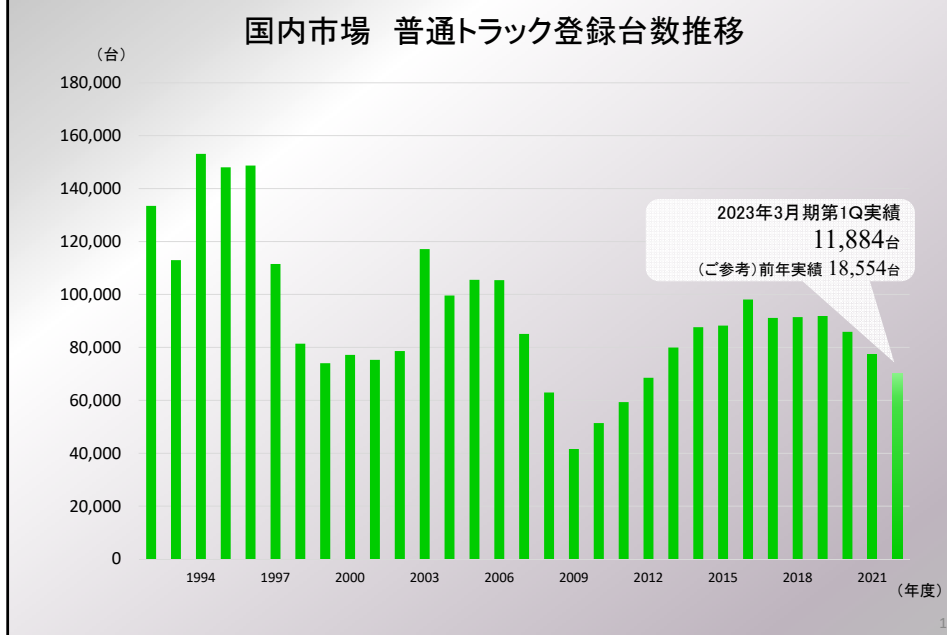


12

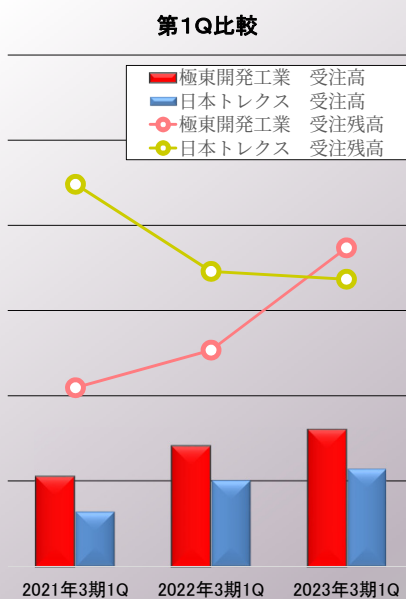
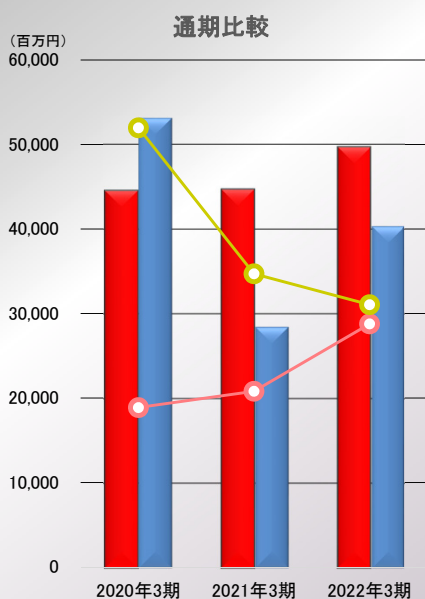
2023年3月期第1四半期 特装車事業



2023年3月期第1四半期 特装車事業(市場環境)

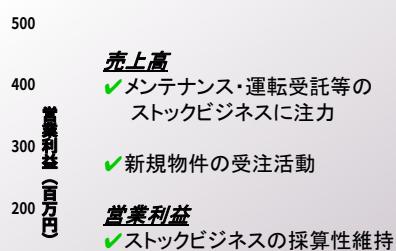
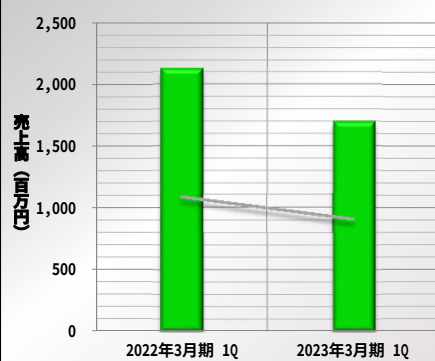


受注高と受注残高



15

2023年3月期第1四半期 環境事業



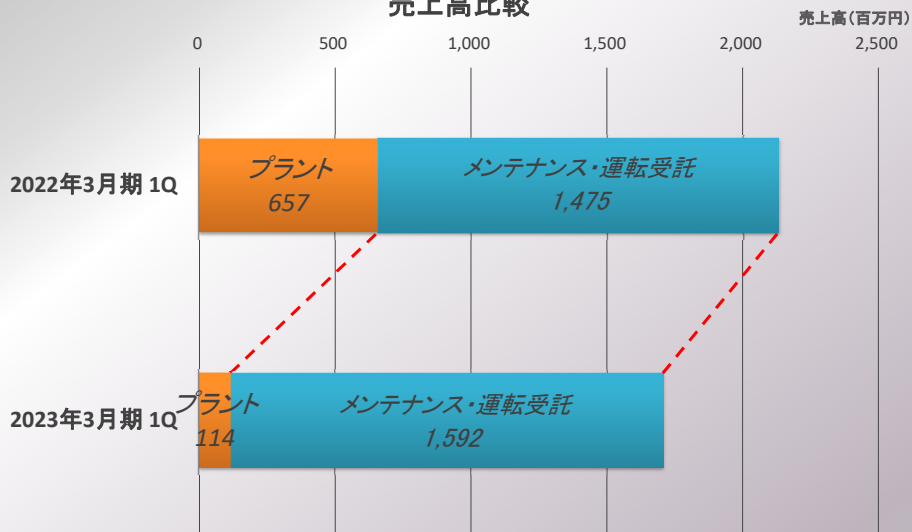
	2022年3月期 1Q実績	2023年3月期 1Q実績	前期比	
売上高	2,132	1,705	△427	△20.0%
営業利益	217	182	△35	△16.2%

16

2023年3月期第1四半期 環境事業

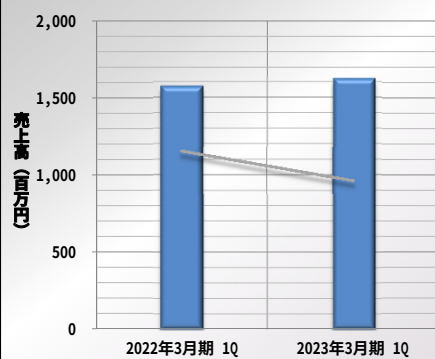


売上高比較



17

2023年3月期第1四半期 パーキング等事業



400

売上高

- ✓ コインパーキング稼働率の
新型コロナウイルス感染症からの回復
- ✓ 立体駐車装置の新規物件の売上増加

営業利益

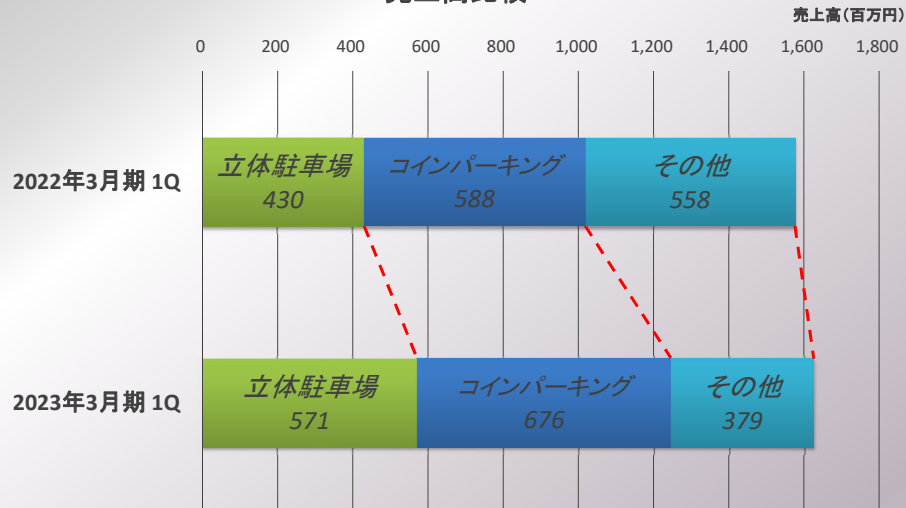
- ✓ リニューアル及びメンテナンス等の
ストックビジネスに注力

	2022年3月期 1Q実績	2023年3月期 1Q実績	前期比	
売上高	1,576	1,626	+49	+3.2%
営業利益	231	193	△37	△16.4%

18

2023年3月期第1四半期 パーキング等事業

売上高比較



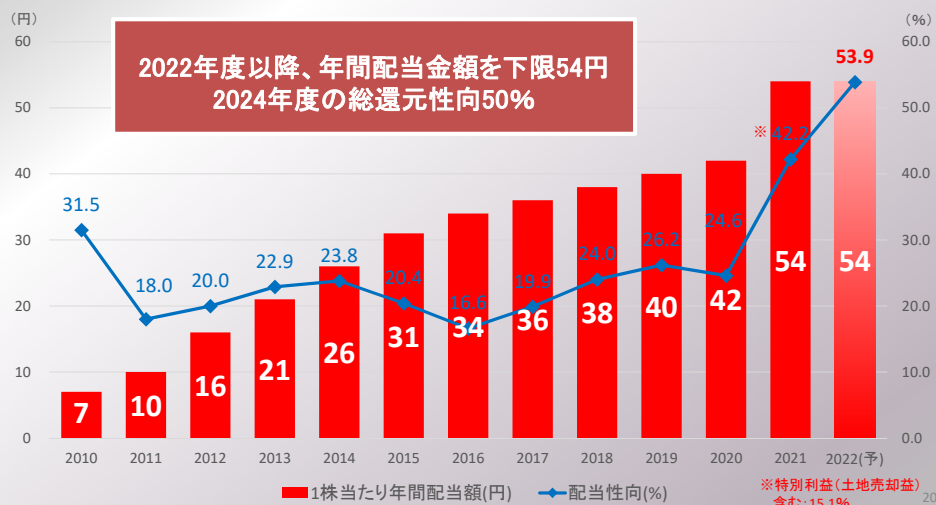
19

配当政策



配当に関する基本方針

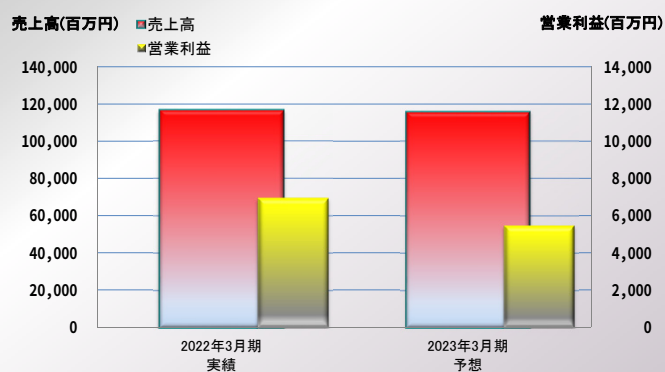
当社グループでは、株主還元を経営の最重要政策の一つと考え、業績の向上と財務体質の強化を図りながら、将来の事業展開、経済情勢等を勘案して、株主の皆様のご期待にお応えできるよう努めています。



2023年3月期 連結業績予想

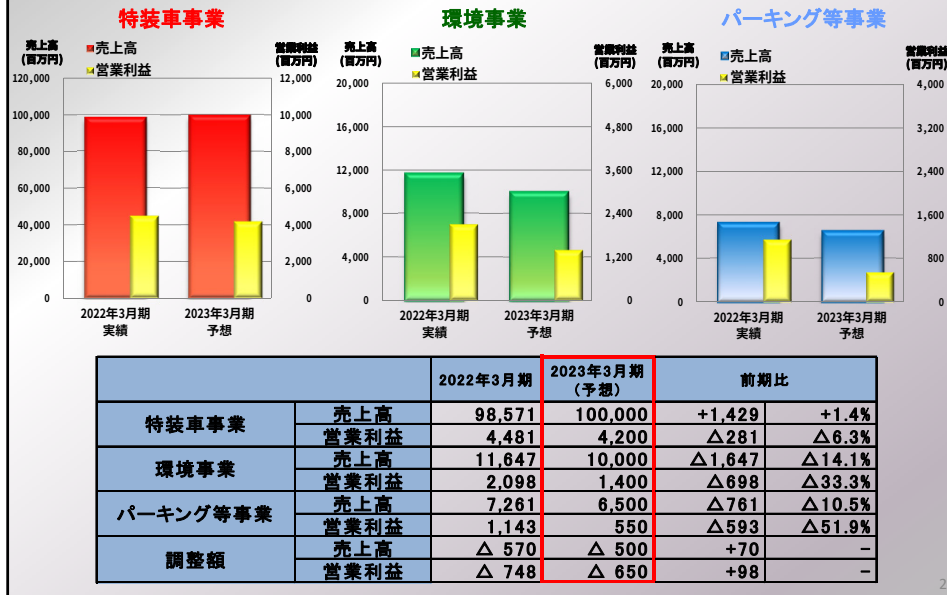


2023年3月期 連結業績予想



	2022年3月期	2023年3月期 (予想)	前期比	
売上高	116,910	116,000	△910	△0.8%
営業利益	6,974	5,500	△1,474	△21.1%
経常利益	7,567	6,000	△1,567	△20.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	14,274	4,000	△10,274	△72.0%

2023年3月期 セグメント別予想



23

TOPICS



TOPICS① 新型計量装置付ごみ収集車

「シャフト式 スケールパッカー®」を発売



回収物重量をその場で計量することが可能な計量装置付ごみ収集車の新たなラインナップとして「シャフト式 スケールパッカー」を、7月より発売しました。

カーボンニュートラルの実現に向けた環境配慮への意識の高まりに応える、新しい計量装置付ごみ収集車です。



※「スケールパッカー」は、国内初(当社調べ)の計量装置付きごみ収集車として当社が2002年より発売しております。

新型計量装置付ごみ収集車「シャフト式 スケールパッカー」

▶ 今後もお客様のニーズに沿った製品ラインナップを展開することにより、**特装車事業の強化を図ります。**



TOPICS② 西宮市で使用されたごみ収集車2台を

ソロモン諸島ガダルカナル州ホニアラ市に寄贈



西宮市は、当社との官民連携の取組みにより、廃車予定のごみ収集車2台(当社製)を、環境学習都市宣言をお互いに行った繋がりのあるホニアラ市へ寄贈しました。

2019年にホニアラ市長から要請があったことがきっかけの寄贈ですが、西宮市が車両を提供し、当社が車両の輸出前点検整備と日本からソロモン諸島への輸送費用を負担する官民連携による寄贈です。



ホニアラ市に寄付を行ったごみ収集車

＜ゴミ収集車寄贈記念式典をオンラインで開催＞

2022年7月27日、日本側関係者事務所(西宮市、当社、JICA関西、こども環境活動支援協会)とJICAソロモン支所をオンラインで中継して実施しました。



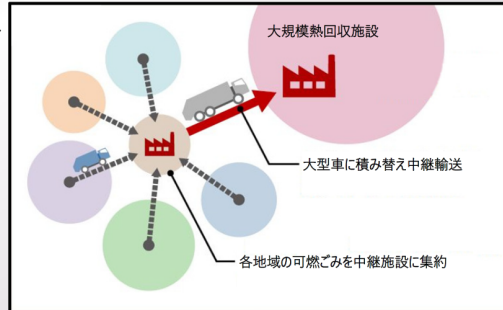
式典当日の様子

TOPICS③ 北広島市 可燃ごみ中継施設建設工事の受注



北海道北広島市様が発注する可燃ごみ中継施設建設工事を6月に受注しました。

本事業は、一般廃棄物広域処理の一環として、廃棄物処理施設まで可燃ごみを運搬するため、当社製コンパクト(ごみ圧縮)装置により可燃ごみを圧縮した後、専用車両に積み替えて効率的かつ経済的に運搬するための施設です。

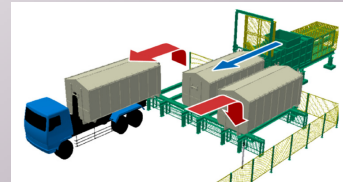


ごみ中継施設イメージ

▶ 今後も、リサイクル施設・ごみ中継施設についてご提案し、循環型社会の形成に貢献いたします。

概要

1. 発注者 北広島市
2. 受注者 極東開発・玉川・広島富田異工種特定共同企業体
3. 工事名 可燃ごみ中継施設建設工事
4. 建設場所 北海道北広島市輪厚345-2外
5. 受注金額 1,440百万円 (消費税および地方消費税除く)
6. 処理能力 45t/日
7. 工期 2022年6月6日～2024年3月25日



コンパクト装置

27



本資料の予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。本資料の著作権は極東開発工業株式会社に帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く本資料を複製・配布することを禁止します。



極東開発グループは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。